

# 八王子支部ニュース

Tel : 042(623)1141 Fax : 042(627)8741

E-mail : sensei@tokyoso-hachioji.com & [hachioji-tu@nifty.com](mailto:hachioji-tu@nifty.com)



HP

e-mail

つながろう八王子ミニ実践講座 報告

## やっていいことばかり、詩の指導（小学校4年生）



八王子支部では昨年 15 回行われた学習会。支部大会明けの『つながろう八王子 ミニ実践講座』は、6月24日由井市民センターみなみ野分館で行われました。今回は初めて学級担任を経験したフレッシュな先生が、2年間にわたる詩の指導をレポートしました。国語の授業だけでなく日常の詩を書く指導を通して、子どもたちが内面を表現し、読み合うことで共感し合い、お互いの関係

が豊かになっていくこと、また同僚に教わりながら実践を重ね、教師同士の関係も深まっていく、学校現場でもっともっとあってほしいすてきな実践レポートでした。多忙な時期、18時半から24名が参加し、多くの感想が寄せられました。

### ～ 参加者の感想より ～（要約）

- ・ 詩の授業の中で、子どもたちが心を開いていくことやつなげていくことで、すてきな詩がどんどん生まれていくという素晴らしい実践だった。
- ・ 教師と子どもたちがつながっているからこそ本気で語れる場が生まれてくる。特に発達幅の大きいクラスの中で、作文や詩の指導方法が知りたいと思いを運んだ。これから自分のクラスでも取り入れたい。
- ・ 子どもたちの本音や見ている世界が表れている本当にすてきな詩だった。クラスの雰囲気が温かくなる授業が大切だな、私もがんばりたいなと思った。
- ・ 子どもたちの率直でかわいらしい目線の詩、気持ちが明るくなった。大変なクラスの中、詩を通しての温かい学級経営がすてきだ。
- ・ 子どもの特性を理解し、それを踏まえて紹介されていたのでとても分かりやすくやりたくなった。語彙が少ない子、「先生のせい」という子、自分のクラスにもいる。詩を書かせたらどうなるかな？と思った。またお話を聞きたい。
- ・ 昔々、理想に燃えていた時代の夢のような学校、そこに自分が引き込まれたような気持ちだ。自分が教師生活をやり直せるなら絶対トライしてみたい実践だ。
- ・ 「読み合い」のあるクラスは、子どもたち同士がとても仲が良くなると思う。気持ちを出せる詩を大切にがんばってほしい。

あなたの声を社会へ、世界へ、組合はあなたがつくれます

## 都教組八王子支部大会報告(2)

前号で支部大会の様子をお知らせしました。執行部の井上さんから、特別支援教育改悪に対する取り組みと成果ついて発言がありました。また、グループ交流では、低学年からの子どもたちの荒れ、学童保育施設が児童数増により学校の教室が多く使われていること、増える続ける仕事量に対して絶対的な教職員不足、特別支援教室担任教員の教材を持つての過酷な通勤の様子、若い教職員の休職・退職者の増加、コロナ禍での教職員同士の関係の薄さなどが話されました。アンケートではハラスメント、時間外会議、ゴミ袋問題など共通の課題が多数寄せられました。前号に続き、グループ交流で話されたことについてお知らせします。

### ～グループ交流で見えてきたこと②～ (要約)

- ・体力テスト、行事の準備など共同作業が休憩時間に入っても休憩を取らずに続けている。管理職が見て見ぬふりをしている。管理職は労働時間の管理がほぼできていない。仕事が終わる終わらないの問題ではなく、休憩時間は付与しなくてはならない。問題はいつも退勤時間を過ぎても残業するしかなく、これ以上残業が増えるくらいなら休憩時間に仕事するほうがマシと考える人が多いことだ。人を増やさないと、仕事量を減らすしかない。過労死が出てからでは遅い。
  - ・落ち着いて給食を食べる時間もなく研修に行く若手教員を見ていると気の毒である。
- ・中学校教科担当の教員が見つからず複数校掛け持ち勤務している。
- ・ICT担当教員や一部の教員に仕事が偏り過ぎている。
- ・管理職がうるさく、深夜まで残っていじめや進路の書類づくりに追われているのに『何やっているのか。』と言われた。部活が終わってからやっと連絡カードやキャリアパスポートなどの作成があり、おまけに持ち帰り仕事もある。管理職は教員の仕事に理解がなくなっただと思う。
- ・高校からのキャリアパスポートの提出要求は、そもそも生徒の個人情報であり、本人や保護者の同意なしに高校に送ってよいものなのか。疑問に感じる。
- ・特別支援教室の教員が1名減った。一人の受け持ち児童の人数は多くなり、だんだん仕事が忙しくなっている。



### えがお署名 おねがいします!

『全国版』と『東京都版』の2種類です。「職場で回す」「家族に書いてもらう」「知人友人にお願いする」など工夫し1人5筆集めましょう。

◎7月20日までに支部に届けてください。